すこやか VOL.75

医療法人　藤田病院
岡山市東区西大寺上三丁目8-63
TEL（086）943-6555（代）
令和２年９月発行

鳥取県 大山

新型コロナ第二波と熱中症

藤田病院　医師　藤田 琢也

5月下旬の緊急事態宣言解除から2カ月もしないうちに、再び感染者が増加しています。感染者数は日増しに増え続け、第一波を超える流行となり日本列島を襲っています。

当院のある岡山市、隣の瀬戸内市、赤磐市でも感染者が報告されており、少しずつ近づきつつあるように感じます。新型コロナウイルスについて当初は既知のコロナウイルスと同様に、夏場は感染力が弱まってくれるのではないかとの淡い期待もありましたが、残念ながらそう甘くはなく、濃厚接触する人に感染しています。

ウイルスは基本的には人の中にしかいません。人がウイルスを運ぶので、人との距離を取れば感染はしません。なので、屋外にはウイルスがたっぷり含まれた風が吹いていて感染してしまう?? なーんて恐ろしい状況はありません。テレビでは連日不安を煽るような報道がされていますが、皆さんはすでに流行を抑える方法とその効果を経験しています。それは「不要不急」の行動制限と、ソーシャルディスタンス、手洗い・うがい・マスクです。これらの対策を続けましょう。

ただ、9月になったとはいえ熱中症予防も大事ですので、マスクは人との距離を取れない時だけするようにお勧めしています。また、普段通りの尿の色、回数、量が出るように水分を摂る、エアコンは24時間つけっぱなしにする（ご高齢の方はもったいない、エアコン嫌いという方も多いですが…）、夕方も出歩かない（30℃以上あります！）、といった熱中症対策も忘れないようにしてください。

いくら騒いでみても、1人1人が感染予防に出来ることは、約100年前のスペイン風邪の頃と変わっていません。正しい知識を身につけ、正しく恐れて、このウイルスともうしばらく付き合っていきましょう。

老健はるか

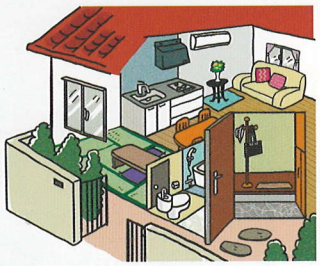
リハビリで目指す憧れの自宅生活

リハ専門職7名在職

介護老人保健施設はるか（以下「老健はるか」）リハビリテーション室の清水（理学療法士）と申します。今回は当施設のリハビリについてご紹介します。

老健はるかは2018年3月に藤田病院が開設した老健です。老健とは介護や医療の必要があって、自宅や病院などから入所された方が再び自宅に戻ることを目指すためのリハビリ施設です。

老健はるかのリハビリは「起きられる人は座れるように、座れる人は立てるように、立てる人は歩けるように」をモットーに、入所者の方のリハビリに理学療法士5名、作業療法士1名、言語聴覚士1名を配置し、それぞれの潜在能力を引き出せるよう運動や生活の工夫を中心にリハビリを行っています。



また、自宅に戻ることを目指す方に対して、ケアマネージャー、支援相談員と連携し、自宅を訪問する家屋調査を行います。家屋調査で実際の生活環境の確認をした上で、自宅を想定した生活の練習や生活する場所にあった動き方の練習を行います。

3割の方が在宅復帰

当施設からは入所者の3人に1人が自宅に戻られており、在宅復帰を目指す施設として最上位である超強化型の認定を受けています。老健はるかは「家で暮らしたい」を支援する施設です。「弱ってきた体をどうにかしたい」「自宅で生活をしたい（させてあげたい）」そんな方がいらっしゃれば、わたしたちリハビリ専門職と一緒にリハビリに取り組みましょう！

パンフレットは藤田病院外来待ち合いに置いてあります。皆様のお力になれる職員が待っております。ぜひ一度、手に取ってご覧くださいませ。

藤田病院の夜勤体制が充実しました

藤田病院では、3階一般病棟の看護師夜勤体制を2人体制から3人体制に改善しました。これまでは施設基準上は問題ありませんが、夜間の看護師配置が2名と少なくナースコールに素早く対応できない、それぞれの患者さんに十分な時間を掛けられないなど行き届かない部分がありました。

しかし、今後は3人配置になり、看護師1人当たりの受け持ち患者数が3割減りましたので、今まで以上に安全に気を配りながら看護に当たることができると考えております。3人体制を目指してから3年が経ちました。今後も看護の質と働きやすさを両立できますよう、病院運営を行ってまいります。